

標本調査

政策専攻・経営学系専攻(B,M)基本科目
経営学系専攻(R)応用科目

木曜6限(18:30~20:00)
509セミナー室
担当:竹内恵行

4/10/08

1

本日の講義内容

- 授業目的
 - 何故「調査票調査」の方法を学ぶのか?
- 履修要件
- 教科書・参考書
- 授業の進め方
- 成績評価
- 講義スケジュール
- その他(適性度チェック)

4/10/08

2

授業目的

- 調査研究(フィールドワーク)で用いられる社会調査法の習得
- 具体的には、標本調査法(調査票調査)とその関連手法を学ぶ

4/10/08

3

何故「調査票調査」の方法を学ぶのか?

- 「調査票調査」(アンケート調査)の方法
 - 社会学部では学部1年次配当の必修科目
 - 経済・経営・商学系学部では殆ど開講されない
 - 大学院でも開講されることは殆どない
- シンクタンク、マーケティング・リサーチ会社
 - 「調査票調査」の実施・解析業務も少なくない
- 調査方法には方法論(理論)がある
 - 見よう見まねの調査は失敗の元
 - 失敗しても、再調査は行いにくい

4/10/08

4

質問:街頭アンケート

- 街頭アンケートで次の質問をされたときに、あなたはどのような印象をもち、また回答しますか。
 - Q1:あなたの昨晚の睡眠時間を教えてください。
 - Q2:あなたの預貯金の総額を教えてください。
 - Q3:あなたが過去に性交渉をもった人数を教えてください。
- たとえ学術目的であっても、プライベートな事柄に関する質問には警戒心を抱く

4/10/08

5

著名な機関が行っている調査は本当に信用できるのか?

- 配布資料
 - 著名な機関が実施した「金融教育」に関する調査の調査票
 - 問題がない調査かどうか、各自確認してみよう

4/10/08

6

履修要件

- 学部程度の統計学の知識があること。
- データに基づく「実証研究」に関心のあること。
- 統計学の知識に自信のない受講者は、火曜6限に開講される、「統計基礎」(大屋教授)の受講を勧める。

4/10/08

7

教科書

- メインテキスト
盛山和夫(2004), 『社会調査法入門』, 有斐閣
(生協書籍部で入手可能)
- サブテキスト
Babbie, E. (2003), The Practice of Social Research, 10th ed., Wadsworth.
Babbie, E. (渡辺聰子監訳) (2003), 『社会調査法1:基礎と準備編』, 培風館(上記9版の邦訳)

4/10/08

8

参考書

- 佐藤郁哉(1992), 『フィールドワーク』, 新曜社 (必読)
- 森岡清志(編著)(1998), 『ガイドブック社会調査』, 日本評論社
- 田尾・若林(編著)(2001), 『組織調査ガイドブック』, 有斐閣
- 盛山・近藤・岩永(1992), 『社会調査法』, 放送大学教育振興会
- 西平重喜(1985), 『統計調査法 改訂版』, 培風館
- 豊田秀樹(1998), 『調査法講義』, 朝倉書店
- Lave, C.A. and March, J.G. (佐藤嘉倫他訳)(1991), 『社会科学のためのモデル 入門』, ハーベスト社

4/10/08

9

授業の進め方

- 講義

知識を与えるだけでなく、実践できるような力を養成するために、以下の方法も活用

- ケーススタディ
- グループワーク(プロジェクト)

4/10/08

10

成績評価

- グループワークの報告およびレポート(50%)
 - 教員評価 + 受講生の相互評価
- 期末試験(50%)
 - 持ち帰り試験

4/10/08

11

講義スケジュール

回	月日	講義内容
1	4月10日(木)	§0. イントロダクション
2	4月17日(木)	§1. 社会調査とその方法
3	4月24日(木)	§2. データと分析モデル
	5月1日(木)	いちょう祭のため休講
4	5月8日(木)	ケース & ディスカッション(1)
5	5月15日(木)	§3-1. 社会調査の設計
6	5月22日(木)	§3-2. 調査票の作成
7	5月29日(木)	§3-3. 測定と尺度 & §3-4. 尺度の再構成
8	6月5日(木)	§3-5. サンプリングの方法
9	6月12日(木)	§3-6. 調査の実施
10	6月19日(木)	§4. 予備的分析 & §5. 調査例: 政府の統計調査
11	6月26日(木)	ケース & ディスカッション(2)
12	7月5日(木)	課題解説など
13	7月12日(木)	プレゼンテーション & 課題解説
14	7月19日(木)	予備日

4/10/08


12



適性度チェック

4/10/08

13



質問A-1：佐藤郁哉(1992)『フィールドワーク』より抜粋 自分にあてはまるものについて ×を付けてください

- 何でも数字におきかえなければガマンできない
- グラフや表が出てくるとわけもなく「科学的だ」と思ってしまう
- 物事を「狭く深く」というよりは「広く浅く」知りたい
- あいまいなことが死ぬほど嫌いだ
- なるべく効率よく仕事をしたい無駄なことは大嫌いだ
- うだうだと理屈をこねるのが何よりも好きだ

4/10/08

14



質問A-2

- 理屈なんか要らない、要するに「現場」に行って肌で感じとれればいいんだと思っている
- 「徒弟制度」という言葉を聞いただけでジンマシができる
- 人と話をするのは大の苦手で嫌いだ
- メモをとるのは面倒くさくてイヤだ
- 原稿用紙20枚以上の文章なんてとても書けない

4/10/08

15



質問B

- 一見つまらないように見えることでも感心したり感動できる
- 自分のことをつき放して観察できる
- ある程度いい加減でずぼらだと思ふ
- ある程度シツコクでクドい方だと思ふ

4/10/08

16



質問A, Bの の数

- 質問Aの の数
 - 3つ未満 質問Bの の数が多ければフィールドワーカーとして有望
 - 3つ以上 フィールドワーク向きではない

4/10/08

17